

震化、ブロック塀撤去促進の啓発を行うとともに、緊急車両の通行や円滑な消火・救援活動に必要な道路の拡幅整備に向け、現況測量を実施します。

●都市インフラ整備とまちづくり

鉄道や都市計画道路など遅れている交通インフラの整備を着実に進め、これに合わせた周辺のまちづくりに取り組むことで、快適で暮らしやすいまちの実現を目指します。

大江戸線の延伸は、今年度より東京都交通局が、地下鉄12号線の延伸に関する調査と明示した経費を計上し、調査・検討を進めています。来年度区は、都との協議を加速するとともに、早期着手を強く要請します。(仮称)大泉学園町駅予定地周辺では、大泉学園通りの拡幅事業に引き続き取り組むとともに、駅前広場の整備や商業施設等の立地誘導など、新たな拠点づくりを進めます。



大江戸線延伸の早期事業化を目指し、都と連携して調査・検討を進めています

西武新宿線の連続立体交差化は、都、隣接区市、鉄道事業者とともに、来年度の事業認可取得に向けて準備を進めます。鉄道と交差する補助230号線と武蔵関駅交通広場は、連続立体交差化とあわせ、事業認可取得に取り組みます。補助135号線は、事業化に向け現況測量を開始します。

石神井公園駅南口西地区市街地再開発事業は、6年度の再開発ビルの工事着手を目指します。来年度は、権利変換計画の認可を取得し、地区内に居住・営業している方の移転、既存建物の除却を行う予定です。区は引き続き、円滑な事業実施に向けた取組みを支援します。補助232号線の再開発事業区域から富士街道までの区間については、関係権利者と用地取得に向けた協議を進めます。

●練馬のみどりを未来へつなぐ

稲荷山公園と大泉井頭公園は、白子川を軸とするみどりのネットワークの拠点となる都市計画公園です。稲荷山公園では「武蔵野の面影」をテーマに、年度内設置予定の(仮称)専門家委員会や地域の皆様の意見を踏まえ、来年度は整備に向けたロードマップを作成します。大泉井頭公園は「水辺空間の創出」をテーマに、基本計画策定に向けた基礎調査を実施します。

公園のトイレが清潔・快適で、地域に相応しい個性を備えていることは、公園のみならず練馬区のイメージアップにつながります。来年度、維持管理の在り方も含めた「(仮称)公園等トイレ改修計画」を策定します。開園から約30年が経過し、全面改修を行う平成つつじ公園のトイレを、区民協働で、練馬駅前に相応しいものとするなど、区内の公園トイレのリニューアルを計画的に進めていきます。

経済、都市農業、文化・スポーツ施策

●産業振興、商店街振興

区が行った事業所実態調査では、コロナ禍による経営悪化、物価上昇による収益の低下など様々な課題が明らかになりました。4月から練馬ビジネスサポートセンターの中小企業診断士を増員して、事業者の課題を共に考え、中長期的な経営戦略の策定実行を支援します。

引き続き、キャッシュレス決済ポイント還元事業により、区内商店街等での消費喚起につなげるとともに、商店街のデジタル化を推進します。また、練馬区商店街連合会が実施する30%のプレミアム付商品券事業を来年度も支援します。

●都市農業施策

農地や屋敷林などが残る地域の風景を保全、育成する拠点として整備を進めてきた「(仮称)農の風景公園」が来月開園します。名称は、近隣小学校の児童から募集した案の中から、練馬の農の風景を次世代に引き継いでいく思いを込め、「高松みらいのはたけ」としました。

伝統農産物「練馬大根」、ビール麦「金子ゴールデン」をはじめ、練馬で作られている野菜や果樹を栽培します。種まきから収穫までの一連の体験事業を実施し、校外学習の場としても活用します。

なお、「高松みらいのはたけ」及び「農の学校」の設置管理について必要な事項を定めるため、練馬区立学びの農園条例を制定することとし、本定例会に条例案を提出しています。

●文化施策

みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまち、身近な場所で誰もがスポーツを楽しめるまちの実現は、区長としての私の理想です。

区立美術館と貫井図書館は、国内外で活躍する建築家で京都大学教授の平田晃久氏に設計をお願いしました。4月からは、秋元館長の後任として、「横浜トリエンナーレ」などの実績がある伊東正伸氏を美術館長に迎え、展覧会などのソフト事業の具体的な検討を進めます。

石神井公園ふるさと文化館では、時代と人を描いた「龍-RON-」や「JIN-仁-」など数々のヒット作で知られる練馬区在住の漫画家村上もとか氏を、4月に館長に迎えます。館所蔵のアニメ資料の活用や区ゆかりの漫画家との連携事業などを展開していきます。

●スポーツ施策

石神井松の風文化公園を拡張し、フットサル・テニス兼用コートのほか、スケートボードが出来る広場を整備するため、8年度の開設に向けて設計に着手します。

ユニバーサルスポーツフェスティバルの一環としてポッチャ交流大会を実施するとともに、各地域でのパラスポーツイベントを充実します。

区政改革・区民協働

●DXで区民と区政を直につなぐ

区はこれまで、目に見える形で窓口改革を進めてきました。場所や時間を選ばずスマホやパソコンから手続き・相談が出来る「行かない、書かない」デジタル区役所の実現に向け、申請等のオンライン化をさらに推進します。区民事務所で受け付けている住民票や戸籍証明、税証明などの請求手続きを、8月からオンラインで出来るようにします。また、引っ越しやおくやみの手続き、妊娠中の健康相談やメンタルヘルスなどの問い合わせに対応するチャットボットを導入します。

キャッシュレス決済を拡大し、子ども家庭支援センターとこども発達支援センターで、7月から一時預かり事業などの利用料の支払いにクレジットカードや電子マネー等を使えるようにします。

●区民協働の推進

基礎的自治体である区にとって、最も重要なのは住民自治の実現です。区政最大のパートナーである町会・自治会の活動活性化を目指します。コロナ禍により縮小を余儀なくされた活動の再開とさらなる充実に向けて、来年度は、(仮称)地域応援臨時交付金を支給します。(仮称)ねりま協働ラボを立ち上げ、町会・自治会とNPO・ボランティア団体がコラボした取組みへの支援を行うとともに、地域活動への新たなチャレンジを後押しします。

また、区東部地域で、区内2カ所目となる地域活動倉庫の整備に着手します。

未来を拓く

区長就任以来、数々の練馬区モデルを立ち上げ、全国自治体を先導する多数の施策を実行して来ました。それが漸く実を結んで、希望の芽が育ち始め、今、練馬区はさらに発展する好機を迎えています。

4月3日には、名誉区民である牧野富太郎博士が主人公のNHK朝ドラがスタートします。牧野記念庭園の「書斎再現プロジェクト」には、区民の皆様から目標額500万円に迫る寄付を頂いています。昨年末から、地元商店会と連携して「ボタニカルアート展」を開催していますが、引き続き地域の皆様、博士出身地の高知県と連携して盛り上げていきます。

年半ばにはハリリー・ポッター スタジオツアー東京がオープンします。ゆくゆくは年間300万人の来場が想定される大プロジェクトです。ワーナーブラザーズと連携して、地元商店会をはじめ、産業団体、公共交通機関、区内3大学などと協力し、オープンへの機運醸成と来訪者の区内周遊への取組みを進めます。

そして秋、11月19日には、全国都市農業フェスティバルを光が丘で開催します。国分寺市、松戸市、名古屋市、京都市の招聘が決定しました。世界都市農業サミットで確認出来た都市農業の魅力と重要性を、各都市の皆様とともに、全国に発信します。

みどりの中で優れた文化芸術に親しめるイベントを創設します。名誉区民であり人間国宝である野村万作さんをはじめ、3代にわたる狂言の継承をテーマにした「(仮称)野村万作から萬斎・裕基へ」を、日本を代表するバイオリニスト大谷康子さんプロデュースによる野外音楽祭「(仮称)ねりまの森の音楽祭」を開催します。

政策面でも大きく前進します。順天堂練馬病院が今年度中に三次救急医療機関に指定され、また、予てからの練馬区の主張に沿って、(仮称)東京都練馬児童相談所が来年開設されます。さらには、大江戸線の延伸、西武新宿線の高架化、区立美術館のリニューアルなど、我々の前には練馬区発展の道が大きく拓けています。

全国から注目が集まる大きなプロジェクトが目白押しである今こそ、区の政策や魅力を広く発信する絶好の機会です。「伝える広報」から効果的・戦略的な「伝わる広報」へと転換し、「ねりま推し」を合言葉に、区民の皆様と一緒に練馬区を盛り上げていきたい。そう考えています。

私は半世紀にわたって行政に携わり、あるべき行政とは本来どういふものなのかと考え続けてきました。その答えは、長期的視点に立ち、社会全体の利益を実現する、それに尽きると考えています。

しかし、実行するには確固たる決意が必要です。政治家には、どんなに頑張っても自分の理想や信念が受け入れられず孤立せざるを得ない場面があります。そうした時、誰しも目先の安定を求め、安全な方向に向かいたくなくなってしまいます。しかし、いかなる場合でも受け狙いや人気取りに走っては絶対にならない、そうあってはならないと、私は常に自分自身に言い聞かせながらやってきました。

児童相談所の設置問題がその典型です。多くの区が区立児相の設置に賛同しているなかで、粘り強く独自の取組みを進めた結果、練馬区に都児相が設置されることになりました。

私たち政治に携わる者には、孤立を恐れず、信念を貫いて輿論を興し、連帯の輪を広げていく折れない心、日々の営みが求められる、そう確信しています。

「改革ねりま第Ⅲ章」の実現に向け、引き続き区議会の皆様、区民の皆様と手を携え、練馬区の未来を拓いていく決意です。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



秋の全国都市農業フェスティバルでは、練馬産の採れたて野菜や果物に加えて、全国各地の農産物を販売します